

平成30年度
幼稚園評価

学校法人 慈光学園
ひかり幼稚園

・教育目標、教育理念

ほとけさまをおがみ、感謝と報恩に努めましょう。

よく見、よく聞いて、自分で考えましょう。

元気に遊び、強くなりましょう。

・本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標計画、幼稚園

評価の具体的な目標や計画

- 1、多くの体験、経験から知識を得たり、人と人の繋がりに感謝する。
- 2、言葉に親しみを持ち、多くの児童文化に触れ豊かな心を育む。
- 3、体を十分に動かし、心身の発育を促す。
- 4、季節の移り変わりや経験を、様々な画材を使い表現する。
- 5、挨拶の励行や、心を込めてお礼を伝える事の大切さを知る。
- 6、相手を思いやりながら、会話や活動を楽しむ。

・評価項目

	理由
	<ul style="list-style-type: none">・遊びの中で、様々な経験から知識を得て、幼児が主体的に創意工夫を遊びの中に発展できるよう働きかける。小学校入学に向けて、話を聞く姿勢、また話を聞く事は自分の安全を守る事に繋がる事を伝える。・数1から10の概念を遊びの中から理解し更に理解を深められるよう、保育の中で発展的な指導を行う。文字に親しみ

<p>教育活動の充実</p>	<p>を持ち、50音の「読み」「書き」を習得できるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験画などの絵画製作や、折り紙や絵の具などを使った製作、幼児が楽しんで行えるように働きかける。また季節を感じて製作が行えるような工夫をする。 ・音楽リズムでは、ピアノだけでなく、マーチングキーボード、ベルリラ、木琴、小太鼓、大太鼓など様々な楽器に触れ、また運動会やお遊戯会で幼児が選んだ楽器演奏を披露し、音楽リズムの楽しさ、多くの人と音を合わせて演奏する事の楽しさを知る。また年長児は、教員の力をなるべく借りずに、主体的に演奏、演技できるように指導し、励ます。 ・運動あそびは、各教員及び体育専門指導員により、鉄棒、跳び箱、縄跳び等の専門的な指導を行うとともに、体を動かす事の楽しさを幼児に伝える。 ・英語は、専門教員による指導を行う。英語が勉強になる前に、楽しく「話す」「歌う」を主として指導する。
<p>道徳指導情操教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月毎に、願生寺本堂にて、住職による法話を聞く。法話内容は、道徳教育、情操教育の要素を含んだ内容でお話しをする。命あるもの全てに敬い、感謝する事の大切さ、思いやりを持って人と接する事の大切さを伝える。 ・週2回、各保育室に於いて、担任の先生による仏参を行う。住職の法話で学んだ事を話し合ったり、またそれに関連した児童文化を使用して幼児に分かりやすく話をする。 ・副教材として「ことばとさほう」の本を仏参の中で読んだり、各家庭へ持ち帰ってもらい保護者にも読んでもらう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は大きく元気よく慣習化するように働きかける。「ありがとうございます」「ごめんなさい」「しつれいいたします」のご挨拶の仕方を覚え、自然に言えるよう促す。 ・いつも身の回りを清潔に保てるよう、また感染症等病気に感染しないように、手洗いやうがいの慣行を促す。自分のハンカチや、年少児のお手拭きタオルは清潔に保てるように気を付ける。制服の襟を正す、アンダーシャツをズボンにしまふ、といった身なりの整えを習慣にできるよう伝える。脱いだ靴は左右を揃えて所定の場所に片づけ、手洗い場のスリッパも左右揃えて片づけられる様に促す。服の着脱の際には衣

<p>基本的な生活習慣</p>	<p>服を自分で畳めるように指導する。</p>
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教員は、視診触診を行い、体調不良や怪我の有無を必ず確認する。 ・園舎、保育室内、園庭、遊具に不具合がないかどうか目視確認を行う。また定期的に、専門家による遊具点検を行う。 ・感染症患者がでた場合には、メールや園門、バス入口に保護者のみに分かるように通達する。 ・地震、火事、不審者等、避難訓練を定期的に行い、避難マニュアルを作成して教員全員が周知し、またひかり幼稚園に出入りする講師及び業者にもマニュアルを周知してもらう。
<p>小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学前に、学校への歓迎会に参加する。小学校入学に対して期待を持てるように年長児は小学校の話を保育の中に含めて、スムーズに学校生活が送れるように励ます。
<p>園外活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に多くの経験をしてもらう為、様々な園外での保育プログラムを設定する。園外に出向く学年は年長児だけに拘らず、全学年が園外活動に参加し、縦割りで活動してもらう。縦割り保育を経験し、他学年への思いやりの心や敬う気持ちを持てるように工夫する。(春、秋、お別れ遠足、四日市港見学・プラネタリウム見学) ・年長児は奈良県曽爾村へ宿泊保育を体験してもらい、保護者と離れて、教員と2日間過ごし、自立心を育めるよう促す。
<p>食育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理室の場所を知り、食器の片づけ等、園児自身が行う。給食を作って下さる調理員さんへの感謝をはじめ、毎日命を頂いて生かされている事を知り、感謝する。 ・「いただきます」「ごちそうさまでした」のご挨拶は、丁寧に心を込めて挨拶できるように促す。 ・定期的に栄養士が食育指導を行い、食事の大切さを伝える。

・ 反省と今度取り組むべき課題

評価基準 A 達成できている

B おおむね達成できている

C 取り組んでいるが成果がでていない

D 取り組んでいない

	結果	理由
教育活動の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての教育活動に於いて、それぞれの教員、専門教員のスキルアップを図り、それぞれが技術を高めていく為に積極的に研修参加する事が重要である。研修参加後、それぞれの教員が参加した研修の報告を行い、全教員が同じ知識や技術を共有できるように努めた。毎年、似た研修に参加する傾向があるので、いろんな分野の研修参加が出来るように気を付けたい。 ・数、文字の習得はおおむね出来ており、引き続き指導を行っていく。数概念の理解を深められる様、普段の保育の中でも数や文字に親しみ、更に理解が深まるように遊びの中に取り込んでいけるよう、各教員が心掛けていきたい。 ・表現あそびでは作品展を始め、幼児が楽しんで取り組む事が出来ていた。また各クラスがそれぞれに趣向を凝らし、普段使わない画材や技法を使って作品づくりに取り組むことが出来た。他クラスの作品を見ることで、更に表現する事の楽しさを知る事ができた。 ・音楽リズムでは幼児が楽譜を読みメロディーの演奏や、リズムの演奏を主体的に行うことが出来た。お遊戯会では、大勢の人の前で遊戯や演奏を自信を持って発表することが出来た。普段の保育の中でも、積極的に楽器を触り、演奏

		<p>する事の楽しさを発見できるように気を付けていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動あそびでは、走る、飛ぶ、投げる、などいろいろな運動機能の発達を促進することが出来た。跳び箱、鉄棒、マットなどの運動を専門教員の指導を受けて、楽しく参加することが出来た。運動会では、クラスや学年で協力し競技に参加し、協力する事の楽しさ、勝負で勝つことの嬉しさ、負ける事の悔しさを知ることができた。幼児にとって、勝敗を分けることが情操教育上どのような影響を与えるか、今後も教員間でしっかり研究していく必要がある。
<p>道徳指導情操教育 の充実</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仏参では、毎週2回お部屋で、月に1回本堂で行うことが出来た。また、お盆参りに参加することで、命の大切さ、今ここに生かされている事への感謝の気持ちを、それぞれの園児が持ち、考えることが出来た。 ・園庭にある草花に触れ、またウサギや小さな虫等に触れ、命の大切さを知ることが出来た。 ・クラスの中で、友達との関わり、縦割りグループで他学年の友達との関わりの中で、社会性や道徳性を培うことが出来た。 ・友達の名前には必ず敬称を付ける事や、相手を思いやった会話が出来るように指導し、幼児が相手を傷つけるような発言は殆どなくなった。衝突があると、相手を傷つける言葉を言ってしまう事もあったが、必ず「ごめんなさい」の言葉を導き出す事ができた。今後も、突発的に衝突が起きてしまっても、落ち着いて幼児に指導できるように気を付けたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は大きな声でする事が、おおむね出来ていた。園の見学者や来客に対して咄嗟に挨拶出来ない幼児が見られたので、どんな時でもどの人にも挨拶できるように指導していく必要がある。 ・職員室に入る時、出る時の「失礼いたします」

<p>基本的な生活習慣</p>	<p>A</p>	<p>の挨拶で、しっかりと一礼して入室、退室することが出来るようになった。引き続き、入退出時の挨拶が丁寧に行えるように声掛けしていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防の為、手洗いうがいを活動毎に、また園庭や園外から保育室へ戻った際に、しっかりと行うことが出来た。蛇口の閉め方が緩く水が出ている状態のままのことがあったので気を付けるように今後促していきたい。 ・手洗い場のスリッパは、次に使う人の事を考えて左右に揃えるよう指導した。おおむね出来ていたが、急いでいると疎かになる事があったので、如何なる時もきれいに揃えられるように促していきたい。
<p>安全管理</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手拭きタオルは毎日洗濯し、水、金は各家庭に持ち帰り家庭で洗濯してもらい清潔に保つことに努めた。 ・園門に、アルコール消毒薬を常備し、来園者に消毒をお願いした。消毒してから入って頂く事を、特に感染症のはやる時期は今後も徹底させていきたい。 ・食前食後はテーブルなどに次亜塩素酸消毒薬を使用し、食中毒や感染症などに気を付けるよう努めた。 ・地震、火災の避難訓練を行った。また大津波警報時は屋上に避難するため、屋上への避難訓練も行った。消火活動が実際に行えるよう、中消防署から消火器をお借りし、全職員が消火訓練を行った。マニュアル通りにいかない場合を想定し、臨機応変に災害時は対応できるよう、各職員が日頃から様々な想定をしておくように気を付けていきたい。

<p>小学校との連携</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の小学校から、歓迎会に招かれ参加させていただいた。幼児は小学校入学にとっても期待し、楽しみにしている様子であった。他の学区の小学校との関わりも積極的に行えるように今後は働きかけていけたら良いと考える。 ・就学時健診では、就学予定学校まで幼児を送迎した。 ・小学校との連携が、いろいろな形で取れるように今後は努めていきたいと考える。
<p>園外活動の充実</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動は、春の親子遠足、港見学(四日市港)、一番街笹飾り、プラネタリウム見学(四日市博物館)、秋の遠足、芋ほり遠足、各クラス単位の園外活動(各々の担任の教員が行先を決めて活動する)文化会館で観劇、四日市中消防署見学、お別れ遠足、に全園児が参加した。地域社会との関わりを持てるように、また様々な経験が出来るように多くの園外カリキュラムを用意した。年長児は、奈良県曽爾村へ1泊2日のお泊り保育に参加した。天気に恵まれ、初日長島スパキッズ、キャンプファイヤー、ハイキング、青蓮寺湖ぶどう狩りの全工程を催行することが出来た。
<p>食育</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内にある調理室より、温かい給食を幼児に提供することが出来た。また調理室はガラス張りになっており、調理員さんが調理する姿を直接見ることが出来た。幼児が直接、調理員さんに食器を返しに行き、お礼を伝えたり、感謝の気持ちを持つことが出来た。 ・特定給食施設で、栄養士を配置していた。 ・給食利用者の身体状況、栄養状態、生活習慣等を定期的に把握し、これらに基づき適当な熱量、栄養素の量を満たす食事の提供、およびその品質管理を行うとともに、これらの評価を行うように努めることが出来た。 ・献立等、おたよりにて熱量、たんぱく質、脂質、食塩などの主な栄養成分を保護者に知らせ

		<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、検食簿は検食時間と評価項目について記載欄を追加して、幼児の視点に立った客観的な評価を行う。 ・本園在職する栄養士による、栄養指導を行った。今後、食育活動の際には目標を関係職種で共有しながら取り組み、結果の記録と評価を行う。
--	--	--

・ 幼稚園評価の具体的な目標、総合的評価結果

結果： A

理由：すべての評価項目において、おおむね出来ていたが、改善すべき点、更に努力していくべき点があげられた。職員全員が、改善点等を理解し個々に保育をふり返り、また職員間でどう改善していくかを話し合う必要があると考える。幼稚園は、職員の声を傾聴し、職員が能力を最大に発揮できる環境づくり、保育提供が出来るように今後も努めていくべきであるとする。

学校関係者による評価

ひかり幼稚園は仏さまを拝み、感謝の気持ちを教えてくださる幼

稚園です。また仏参の時間が各保育室で週2回程、本堂で月に一回あり道德のお話しを聞き命の大切さ、今ここに生かされている事への感謝の気持ちを考えることが出来ます。

お給食の前には食すことが出来ることに、また命をいただいていることに感謝をし、クラス皆で挨拶をしてからいただきます。

園外活動も充実しており、春には親子遠足、港見学、笹飾り、プラネタリウム見学。秋からも秋の遠足、芋ほり遠足などがあります。文化会館で開催されます観劇や四日市中消防署見学などもあり、園児達も楽しみにしています。年長組さんになると奈良県に一泊二日で先生方とお泊り保育があり、自立心も教えていただけます。職員室に出入りの際には、「失礼いたします」の挨拶でしっかりと一礼をします。先生方も園児に対して敬語でお話しして下さるので自然に敬語が身に付きます。教育活動も鉛筆の持ち方、数や50音の読み書きなどを文字に親しみを持ちながら、保育の中で教えて頂けます。また年長組、年中組は月に一度土曜保育があり、英語も教えて頂けます。

ひかり幼稚園で園児たちがまなぶことは多く、人と人とのつなが

りに感謝をし心を込めてお礼を伝えることの大切さ、よく見、よく聞いて、自分で考え元気に遊び自立心の持った子どもに育てていただいております。理事長先生をはじめ、園長先生、先生方に感謝致します。

ひかり幼稚園 PTA 会長 西上亜紀